

令和2年5月1日	
所 属	文化振興担当
所属長	松長 昌男
電 話	06-6489-6385

A-Lab @ Home ワークショップ ～おうちでアーティストとワークショップ～ の配信について

1 趣旨

あまらぶアトラボ (A-Lab) では若手アーティストによる展覧会やワークショップなどを開催しています。昨年度からは、芸術をより身近に感じ、楽しんでもらうため、市内各地に出向いてワークショップを開催する『A-Lab Go』を行ってきました。今回の新型コロナウイルスにおいて、緊急事態宣言が出され外出を自粛するよう要請されており、感染拡大防止のために人を集めてワークショップをすることができない状況になっている中で、アートの力を生かしていく方法として、おうちでアーティストとふれあいながら楽しめる企画として、動画配信による“ワークショップ”を実施します。

2 内容

これまで、あまらぶアトラボ (A-Lab) で展示やワークショップなどを開催していただいた5組のアーティストが身近なもので作る工作教室やドローン入門など外出できない子どもたちに向けて動画による“ワークショップ”を、緊急事態宣言が出されている5月1日から、毎日1組ずつ、YouTubeチャンネル「あまがさき文化芸術情報局」(URL: https://www.youtube.com/channel/UCIcR4XK-JIDMiF_9j3-Pmjg) で動画を配信していきます。なお、オープニング及びエンディングに使用している楽曲は2019年にジュネーブ国際音楽コンクール作曲部門において1位を受賞された市内在住の高木日向子さんに制作いただきました。

【参加アーティスト及びスケジュール】

- 5月1日 マキコムズ 「パタント顔をかいてみよう」
- 5月2日 升田学 「跳ねっカエル ワイヤーアートおもちゃ作り」
- 5月3日 小林哲朗 「ドローン初心者入門」
- 5月4日 三枝愛 「家を触って作る、拓本の本」
- 5月5日 吉川直哉 「お家のものだけで作ろう！ カメラ・オブスキュラ」

3 アーティスト略歴

マキコムズ (アートユニット)

1971年まれのカワサキマキと1960年生まれのマスダマキコの二人で2014年よりユニットとして活動開始。「CAP こども図工室」「CAP 土曜クラブ」などの他、KIITO マルシェ、神戸文化祭、あさご芸術の森美術館などで、主にこども・遊び・つくることのワークショップを展開。「マキコムズ」は双方の名前から「まわりを おもしろいことに巻き込んじゃう」の意味がある。

升田学 (美術家・ダンサー)

2006年より一本のハリガネを一筆書きのドローイングのように創作する美術作品「ヒトスジ」を発表。6×7mの天井吹き抜け空間を活かし、大空を借景にしたインスタレーション展「絵空事」を開

催するなど展覧会を多数。一方で役者・美術班として維新派に在籍（1997～2008）。退団後はやなぎみわ・小野寺修二など、舞台作品に多数出演。神戸学院大学 非常勤講師（2015～）

小林哲朗（写真家）

1978年、尼崎市生まれ。主に工場、巨大建造物、地下空間、廃墟など身近な異世界をテーマに撮影。その他ドローンによる空撮、ポートレート、学校写真も手掛けるなど、ジャンルを問わず幅広く撮影をしている。200 Best AD Photographers Worldwide 18/19 に選出される。【展覧会】阪神沿線工場写真展（阪神レンガ倉庫/尼崎）2013、魅せる工場展（A-Lab）2016【出版】ドローン鳥瞰写真集（玄光社）2017、工場ディスカバリーZ（アスペクト）2014、廃墟ディスカバリー2（アスペクト）2009

三枝愛（美術家）

1991年、埼玉県生まれ。ものに込められた意志を預かっている。【展覧会】松栄ハイツについて（帯屋捨松 元社員寮松栄ハイツ/京都）2018、ハロー！アーツ・トロピカル（Arts Tropical/沖縄）2018、A-Lab Artist Gate 2018(A-Lab) 2018、石が残っている / Will is left（小金井アートスポットシャトー2F/東京）2017【受賞】清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017 O JUN 賞（2017）、群馬青年ビエンナーレ 2017 群馬の森野外展示作品賞（2017）

吉川直哉（写真家・A-Lab アドバイザー）

大阪芸術大学教授、ビジュアルアーツ専門学校非常勤講師、日本写真芸術学会理事、日本広告写真家協会学術会員。平成 25、26 年の 2 年にわたり AMA 展キュレーター。平成 12 年～13 年文化庁派遣芸術家在外研修/サウスハンプトン大学客員研究員(ニューヨーク)、平成 15 年延辺大学客員教授(中国)。平成 28 年テグフォトビエンナーレ芸術監督（韓国）。

高木日向子

1989 年生まれ、兵庫県出身。兵庫県立西宮高等学校音楽科ピアノ専攻、大阪音楽大学作曲学科作曲専攻卒業。給付奨学金を得て、同大学院作曲研究室修了。2017 年日本音楽コンクール作曲部門第 3 位(室内楽作品)。2019 年ジュネーブ国際音楽コンクール作曲部門において、同率 1 位。受賞作品“Linstant”は 2020 年同コンクールオーボエ部門の課題曲となる。現在は、作曲活動に加えて、子どもから大人まで幅広い世代に現代音楽を聴く楽しみを伝える活動も行なっている。大阪音楽大学助手、大阪音楽大学附属音楽院ソルフェージュ講師。

以上